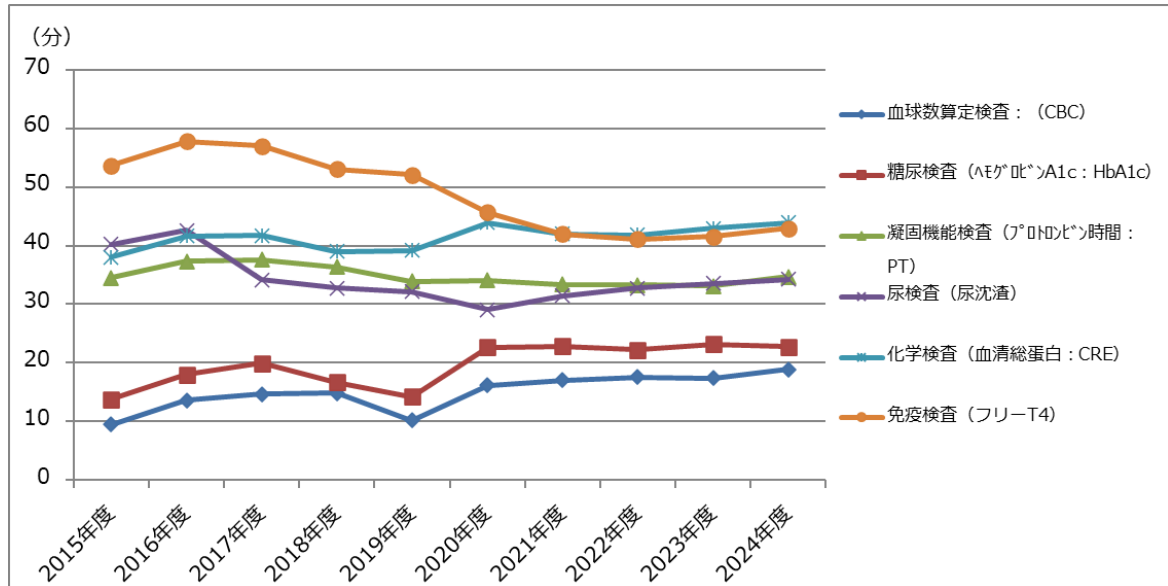


検査に要した時間の推移

検査結果平均報告時間



外来患者における採血・採尿検査の結果報告時間短縮は、患者サービス向上はもとより質の高い医療の提供に必須である。

「検査に要した時間の推移」では検査結果報告までの平均所要時間を評価しており、2023年度と比較して2024年度は大きな変動はなく、現状のシステム環境や運用において限界まで時間短縮活動がなされていると考える。また、最も検査所要時間のかかる免疫検査と化学検査の平均値が目標値である45分を切っており、上記検査がフルセットでオーダーされた場合でも、再検査などがなければ45分以内に報告可能な運用となっている。

しかし、検査結果平均報告時間だけでは患者個別の所要時間の評価は難しいため、「診察前検査結果報告所要時間」とともに評価を行い、再検査やアーチファクト確認などにより報告時間が目標値を超える検体に対し、更なる時間短縮の運用を模索し、より充実した患者サービスの向上に取り組んでいく。また、2025年度は検体検査システム及び機器が変更されるため、引き続き各種検査項目の結果報告時間をモニタリングすると共に、さらなる改善を図る。

データ提供 臨床検査部